

本書の構成

事業名	活動指標と成果指標の合計点による総合評価と今後の方向性を記載している。※1	事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度	政策区分	
総合評価		事業実施課(室)名		施策区分	
				評価者	〇〇課(室)長 〇〇 〇〇

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	当該事業がどのような現状・課題を解消するために作られたのかを記載している。	事業の目的	事業の対象を、どのような取組を行うことで、どのような状態にしたいのかを記載している。
-------	---------------------------------------	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)	
事業を構成する主な取組を記載している。(予算額の大きい順)	事業の活動内容などを記載している。()内には、30年度の活動実績(会議の開催数、研修の参加人数等)を記載している。	①	左記取組のうち、①～④の平成30年度予算額を記載している。	総コスト			元年度の予算額は、当初予算と7月補正予算の合計を記載している。	
				事業費 (うち一般財源)				
				人件費				事業に直接従事する者の数を記載している。
				職員数(人)				
		計						

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	①～④の各項目に1つの指標を設定している。	目標値 実績値 達成率	年度毎の目標値、実績値、達成率(実績値/目標値)を記載している。					各指標の達成率を評価に反映する割合を記載している。	目標値 実績値 達成率						30年度の達成率の評価について記載している。※2
	目標値 実績値 達成率	事業期間の終期を設定していない事業は、最終達成の欄を空欄としている。					目標値 実績値 達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果			
		目標値 実績値 達成率	年度毎の目標値、実績値、達成率(実績値/目標値)を記載している。					30年度の達成率の評価について記載している。※3	30年度における取組により得られた事業の成果等を記載している。		
	目標値 実績値 達成率	事業期間の終期を設定していない事業は、最終達成の欄を空欄としている。									

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
30年度における取組をふまえた今後の課題を記載している。	今後の事業方針	現在の事業の状況、課題等を踏まえた今後の事業の方針等を記載している。			

※表中、実績値及び達成率について、数値が確定していないものについては、速報値または推計値を用いるとともに、当該値が記載できないものは、その理由を附記しています。

【評価項目に係る判定基準等の説明】

区分		判定基準	評価基準	評価
※1 総合評価	活動指標と成果指標の合計点による総合評価	活動指標の点数 + 成果指標の点数	6点（終了or継続・見直し）	A
			5点（終了or継続・見直し）	B
			4点（終了or継続・見直し）	C
			3点以下（例外的に継続）	D
			3点以下（廃止）※3点以下は原則廃止とする。	E
※2 活動指標の評価	事業が目標どおり行われているかの評価	実績値／目標値	90%以上（目標を概ね達成している）⇒3点	a
			80%以上（目標達成度が不十分である）⇒2点	b
			80%未満（目標達成度が低い）⇒1点	c
	【活動指標】一定期間に実施された事業（行政により提供された財サービス）の内容や量（結果）を示す指標			
※3 成果指標の評価	事業の成果が目標どおり達成されているかの評価	実績値／目標値	90%以上（目標を概ね達成している）⇒3点	a
			80%以上（目標達成度が不十分である）⇒2点	b
			80%未満（目標達成度が低い）⇒1点	c
	【成果指標】事業の意図する状態にどれだけ近づいたかを表す指標			